

京都舞鶴港第2ふ頭旅客ターミナル完成

京都府
舞鶴市



舞鶴港西港地区第2ふ頭に7月30日、旅客ターミナルがオープンしました。

京都舞鶴港は、外航クルーズの日本海側拠点港に選定されて以降、着実に寄港数を増やし、現在では、神戸港・大阪港に次ぐ寄港実績を誇る近畿地方有数のクルーズ客船寄港地となっておりますが、これまで、クルーズ船寄港のたびに、仮設テントのWi-Fiコーナーや観光案内所を設置して乗船客の対応をしてきました。

このたび常設の旅客ターミナルがオープンしたことにより、舞鶴港の人流機能の更なる強化が期待されます。

この日は、「ダイヤモンド・プリンス」が寄港しており、気温30度を超える蒸し暑い一日でしたが、乗船客は涼しく・Wi-Fi環境も整備された新しい旅客ターミナルで、快適に「メールのやりとり」や「インターネットによる観光情報収集」を楽しんでいました。

また、旅客ターミナルには臨時の観光案内所、地元特産品販売のコーナーが設けられたほか、地元観光協会による「ヨーヨー釣り」「スーパーボールすくい」も行われ、日本の夏祭りの楽しみも垣間見ていただけたのではないのでしょうか？



旅客ターミナルの外観は、膜式の屋根を採用し、桂離宮など伝統建築にも用いられる「むくり屋根」により、ふっくらと優しい印象で、外国人観光客へのアピールを意識したものとなっています。



事業主体	京都府
施設概要	旅客施設（休憩・待合施設） 木造・平屋建て 延床面積 約500㎡
供用開始日	平成27年7月30日

京都縦貫道全線開通で「海の京都」が より身近になりました！！

京都縦貫自動車道が7月18日に全線開通しました。京都市中心部から京都府北部へのアクセスは、部分開通により段階的に改善が図られてきましたが、今回の全線開通により、更に利便性が向上（約30分短縮）しました。

舞鶴市をはじめとする京都府北部5市2町は京都府と連携し、赤レンガ倉庫群や舟屋、天橋立、小天橋など貴重な遺構や景勝に恵まれた京都府北部地域の魅力を、官民一体になり「海の京都」として発信しています。

今年も7月18日から11月15日までの約4ヶ月間にわたり「海の京都博」が開催されており、本ネットワーク会員の舞鶴市でも、基幹事業として「まいづる海物語～静なる海がつぐむ舞鶴まち歩き～」と題したコンセプトツアーを行うほか、拠点コアイベントとして「まいづるまち博」を9月30日まで実施していますので、是非、この機会に訪れてみてください。

(近畿ブロック事務局 近畿地方整備局港湾計画課)